

つながる手と手



第 29 号

平成28年4月発行



稲敷市ボランティア連絡協議会 講演会を行いました。

目次

表紙・P2 ボランティア連絡協議会 活動報告

傾聴ボランティア合同研修会

シナプソロジー出前講座のご案内 他

P3 私の街のボランティアさん 朗読の会ひばり

ボランティア助成金情報 他

P4 災害ボランティアセンター

熊本地震 義援金募集

詳しくは P3 へ



稲敷市ボランティア連絡協議会 活動報告

講演会 「やさしい社会 つめたい社会」

平成28年2月20日(土)、日本福祉大学中央福祉専門学校専任教員 渡辺哲雄氏を講師にお迎えして講演会を行いました。

やさしいということは「困っている人を助ける事」ではなく「その人の意志を尊重する事」であるということ、自身の体験エピソードを元にお話いただき、大好評の講演会となりました。



移動研修 ～ボランティア交流～

平成28年3月15日(火)、ボランティア間の情報交換及び親睦を深めることを目的に、移動研修を行いました。

千葉県富津市の東日本大震災で被災した海苔工場の見学や、館山のいちご狩りなど体験し、親睦が深まりました。



傾聴ボランティア合同研修会

平成28年2月16日(火)茨城カウンセリングセンターより講師をお迎えして、「さくらボランティア」「傾聴ボランティアうさぎさん」合同で、傾聴ボランティア研修会を実施しました。

『傾聴の心構え』の他、『聴き手・話し手・観察に分かれての実習』を行い、ボランティアさんからは「いつもとは違う経験が出来、いい気づきになった。」「他のボランティアさんと交流を行なえて、自分には無い目線がありとても勉強になった。」と有意義な研修会となったようです。



脳をいきいきさせる 「シナプソロジー」 ボランティア出前講座のご案内

シナプソロジーとは「左右で違う動きをする」「2つのことを同時に行う」など、脳に効果的な刺激を与えることで、脳機能を高める高齢者向けの優しい健康づくりプログラムです。シナプソロジーを継続して行うと『手先の器用さ』『判断能力の向上』『認知機能の向上』など多くの効果が実証されています。

ボランティア団体「シナプソロジー」は、シナプソロジーの出前講座を行っています。

費用や道具は必要ありません。ボランティアのインストラクターがご希望の場所、時間を相談のうえお伺いします。お問い合わせ、出前講座のご依頼は下記までご連絡ください。



お問い合わせ 稲敷市社会福祉協議会ボランティアセンター ☎ 029-892-5711



おもちゃ病院 開院中 ～子供たちの物を大切に作る心を育む～



稲敷市おもちゃ病院は、

毎月第1日曜日 午後1時から午後3時まで

ショッピングセンターパンプ 2F まちかど情報センターで開院しています。

「音が鳴らない」「電池を換えたのに動かない」「タイヤが取れてしまった」などおもちゃが壊れたら、是非1度おもちゃ病院へ！！

お問い合わせ 稲敷市社会福祉協議会 ☎ 029-892-5711

私の街のボランティアさん 朗読の会ひばり

朗読の会ひばりでは、視覚障がい者を対象に、稲敷市で発行している広報誌「広報稲敷」「議会だより」の朗読CDを作成しているボランティアグループです。毎月、障がい者のために心を込めて作成しております。

朗読の会ひばりでは一緒に活動ができるボランティアメンバーを募集しています。活動ができる方、朗読CDを希望する方は、下記お問い合わせまでご連絡ください。



お問い合わせ 稲敷市社会福祉協議会ボランティアセンター ☎ 029-892-5711

みずほ教育福祉財団 主催

第33回「老後を豊かにするボランティア活動資金助成事業」

高齢者を主な対象とした、地域に根ざしたボランティア活動等の支援を目的として、その活動に使用される用具・機器類の取得資金の助成。

- | | |
|----------------|--|
| 1. 助成対象要件 | ①ボランティアメンバー数：10人～50人程度
②グループ結成以来の活動実績：2年以上 |
| 2. 助成対象となる活動内容 | ①高齢者の日常生活の援助や生活環境の改善に繋がる活動に必要な用具・機器等
②高齢者と他世代交流を図る活動に必要な用具・機器等
③レクリエーションを通じて高齢者の生活を豊かにする活動に必要な用具・機器等 |
| 3. 助成金額 | 1グループ上限10万円 |
| 4. 申込期限 | 平成28年5月31日(火) 必着 |
| 5. 応募方法 | 所定の申請書に稲敷市社会福祉協議会の推薦を受け、直接郵送 |
| 6. お問い合わせ | 公益財団法人 みずほ教育福祉財団 福祉事業部 |
| 申請書送付 | 〒100-0011 東京都千代田区内幸町1-1-5 みずほ銀行内
TEL：03-3596-4532 FAX：03-3596-3574 |

助成金の応募要領・申請書のダウンロードはみずほ教育福祉財団ホームページをご覧ください。
みずほ教育福祉財団ホームページ <http://www.mizuho-ewf.or.jp>

2016 ふれあいコンサート開催のお知らせ

日時：平成28年6月2日(木) PM1:30開場 PM2:00開演

場所：稲敷市あずま生涯学習センター(稲敷市佐原組新田1596)

全席自由/入場無料

主演：白上 冴(ヴァイオリン) 星川 桂子(ピアノ) 山本 徹(チェロ)

長久 真美子(チェンバロ) 鈴木 祐子(フルート)

主催：精神保健ボランティア さくらの会

後援：稲敷市 河内町 龍ヶ崎保健所 稲敷市社会福祉協議会 龍ヶ崎市社会福祉協議会 利根町社会福祉協議会

協賛：社会福祉法人ゆっころ 社会福祉法人創志会 デイサービスえびはら ベストスマイルコーポレーション
チャンス総合学園 東京リハビリテーション専門学校 平山電機(株)



お問い合わせ 精神保健ボランティア さくらの会 代表 平山 0299-78-2123 荒井 0297-66-1712

平成28年熊本地震義援金 募集

平成28年4月14日(木)熊本県熊本地方を震源とする地震により、熊本県内各地において甚大な被害が発生しました。共同募金会では、被災者支援のために、義援金の募集を行います。

地震により亡くなられた方のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された方々にお見舞い申し上げます。

募集期間 平成28年4月15日(金)～平成28年6月30日(木)

災害復興を支援する 災害ボランティアセンター

昨年、関東・東北地方に被害をもたらした豪雨災害、茨城県でも常総市を中心に多くの被害を受け、災害ボランティアセンターが立ち上がりました。

災害ボランティアセンターとは、支援が必要な方へのボランティア派遣など、災害復興のため支援を行う機関です。今回は、初めての人でも迷わず災害ボランティア活動ができるよう、災害ボランティアセンターの大まかな流れをご紹介します。

○災害ボランティアセンターってなにをするの??

災害ボランティアセンターは社会福祉協議会が設置し、被災した方々のニーズ（困りごと）を集め「被災者」と「ボランティア」を『調整しつなぐ』役割を担い、被災した方々が、元の生活にもどれるよう支援いたします。

○災害ボランティアするのが初めてなのですが・・・

大まかな災害ボランティアセンターでの流れをご紹介します。

1 受付・登録

ボランティアに来た方は、まず受付を行います。
受付票の記入とボランティア保険の加入を行います。

2 事前オリエンテーション

受付終了後、災害ボランティアが初めての方は、オリエンテーションにて、ボランティア活動を行う上での注意事項等の説明を受けます。



休日にはたくさんのボランティアが支援に来てくれます。



4 オリエンテーション

活動が決まったら、活動するグループでリーダーを決め詳しい活動内容、必要物資、活動場所等、説明を受けグループ間で情報の共有を行います。

3 マッチング

集めたニーズ（困りごと）を基に、ボランティア活動とボランティアのマッチング（結びつけ）が行われます。
活動の説明を聞いて、自分にできる活動を選択していただきます。

5 活動資材の受け取り

活動に行く前に、必要な資材等の貸出しを行います。
また、必要に応じて車両の貸出しやボランティアの送迎も行います。

6 活動の実施

「被災者に寄り添う」という気持ちを大切にしながら、リーダーを中心に活動を行っていただきます。

7 活動報告・資材の返却

センターに戻りましたら、貸出しした資材を返却し、うがい手洗い、長靴等の洗浄を行います。
グループのリーダーは、活動状況の報告や継続の有無をスタッフに報告します。

お疲れさまでした。

○災害ボランティア活動を行う上で注意することはありますか。

災害ボランティアに参加する場合は下記のことには注意、準備をお願いしています。

<災害ボランティア活動の心得>

- ・飲み物、食事、移動方法、宿泊先等は各自事前に準備しましょう。
- ・活動は自己責任で行っていただきますので、安全に配慮した活動をお願いいたします。
- ・たくさんのボランティアさんが支援に来てくれるため、受付やマッチングで長く待つことがあります。ご理解をお願いしています。
- ・活動中に知り得た情報は、秘密厳守です。個人情報等、ネットや他人に漏らしてはいけません。
- ・被災地の状況・ニーズは日々変わります。事前に最新情報を調べて活動に参加するようにしましょう。